

《ひと花句会》

● 猛暑かな

夏バテなくしに

うなぎ喰う

【タイガー】

● パナマ帽

むかし

ハイカラ

おじいさん

【ハルキ】

● 悲しきや

祇園祭の

コンチキチ

【貴和心】

● 値札切り新し

夏帽子

【二平】

● みつ豆や

かおりひそかに

夢さそう

【ターシー】

● 蝉時雨

心の奥に

すきま風

【政】

ひと花新聞

第60号

平成30年7月1日
 発行：NPO法人釜ヶ崎支援機構
 ひと花センター
 〒5570002
 大阪市西成区太字
 1-13-15
 電話：06-6664-9789

祝5周年



ともに

「地域社会で共に生きる、
 ひと花センターが活動する中で
 一年が過ぎました。今年も
 ひと花のメンバーと共に公園の草刈りや
 地域の清掃活動など地域社会と
 かわり合えながら暮らす日々が続いて
 います。六月もあじさい祭り開催。茶屋
 春のりりしお水参加して、おかげで
 地域の人と過ごす楽しい一日
 でした。音楽を聞きたらうの生ビール
 釜ヶ崎の語りなど時間を忘れて
 御馳走になりました。花園地域の
 皆さん有難うございました。(平山)

ひと花センター
 五周年を今
 この五周年いろいろな
 プログラムがありました。その中
 びと一番印象に残ったのが
 健康教室です。多くの先生方
 がさまざまな病気や薬を
 対する予防法などを教えて
 下さいました。
 おしく参考になりました。
 中でも一番の楽しみの足踏
 びした。お湯に足を浸して
 昔話も聞いてもらいました。
 こんな中までして下さって
 ありがとうございます。
 と思いましたが、終わった後の
 つかつかの疲れや汗の
 飛びました。
 最後の日お疲れさん、中
 でもさういかに楽しんで下さ
 下さいませ。お疲れさん。
 そのことは今後必ず忘れ
 てます。いつか又このプロ
 グラムふっかつしてはほしいと
 思っています。
 とくげ



ひと花センターは五周年
 早いものでひと花センターが誕生して
 五年になります。生活保護受給者が
 酒やタバコに溺れる人、何れか自分
 生活も求め、知る者同志が集
 ひと花センターはなりました。地域の
 ボランティアや毎月開催される夢ま
 年に一度のミニボジウムを開催して、良
 かつ、これだと思えます。今では西成では
 ひと花センターは地域の中心、少くは
 根を張りつつあります。でも今までの
 五年より、これからの五年が大事な
 思っています。同じ事を同じ様くやっては
 ひと花センターの未来は存じ思いません。
 文化系の好きな人やいきいきと体操とか
 農作業の好きな人、色々なプログラ
 充実して、皆が生きがいを存じ無
 ひと花が進んでくれたら嬉しいです。

ひと花に来て
 良い一日を
 迎えることか
 たのしみです
 十日田

